

# 機械学習による口腔内診断および義歯設計システムの構築

## 1. 研究の対象

2023年6月以前に大阪大学歯学部附属病院 咀嚼補綴科を受診された方

## 2. 研究目的・方法

義歯を製作する際に、口腔内の状況を把握し、診断することは必須のことである。現状では口腔内写真およびレントゲン写真、研究用模型などの資料から担当医自身により行っているが、その作業は時間が掛かり、その精度は経験や専門知識の有無により大きく影響される。そこで、これまでの患者の口腔内写真あるいはレントゲン写真等の情報を用いてコンピュータに学習させることによりコンピュータ自身が患者の口腔内の状況を把握し、診断するシステムを構築し、そのシステムを応用することにより義歯の設計を行うことを目的として本研究を計画した。

研究期間は研究機関の長の許可日 ~ 西暦 2028 年 6 月 30 日とする。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報 : 口腔内写真、口腔内模型、エックス線画像 等

## 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究責任者 :

大阪大学歯学部附属病院 咀嚼補綴科 権田知也

大阪府吹田市山田丘 1-8 06-6879-2954